

## 平成28年度 大阪高等学校 学校評価

### 1 めざす学校像

1927年（昭和2年）、旧制中学校として創立以来、「知育・徳育・体育の調和のとれた全人教育」を追究すると共に、時代の変化を見据えた新たな教育目標である「未来へ、世界へひらく自己の確立」を掲げ、ユニークな進学校を目指します。

- ①学力を多面的に捉え、向上を図る      ②進路観を掘り起こし、希望進路の実現を図る  
③学校行事・部活動の充実を図る      ④基本的生活習慣の確立を図る

目指す学校づくりとして

1. 学習活動と特別教育活動の両面を充実させ、人間的成長と希望する進路の実現を図る学校
2. 生徒・保護者および地域から愛され、信頼されるとともに、安心して安全な学校
3. 広報活動を充実させ、より多くの中学生・保護者に理解いただき、支持を頂ける学校

### 2 中期的目標

#### 1 学び続ける力の育成

- (1) 学力の向上に取り組む
- (2) 指導力の向上に取り組む

#### 2 問題解決力の育成

- (1) 大高文化創造の柱として学校行事の充実に取り組む
- (2) より一層の生徒会執行部活性化に取り組む
- (3) 部活動の充実を図り、大高への帰属意識を高めることに取り組む
- (4) ルール遵守を基盤に学習集団についての育成に取り組む
- (5) 女子生徒指導のあり方追究に取り組む

#### 3 選択する力の育成

- (1) 進路実現のための学習を乗り越えた幅広い学習に取り組む
- (2) 興味関心を深め、自学自習を楽しむ学習に取り組む
- (3) 社会的・職業的に自立するための学習に取り組む

### 【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [平成28年11月実施分]	学校評価委員会からの意見
<p>○「自己評価」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全家庭に保護者アンケートを郵送、無記名回答。回収率 94.0%</li> <li>・生徒は2学期期末試験最終日にアンケートを実施。教員がアンケートを配布、回収。</li> </ul> <p>○生徒の肯定的回答上位2項目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 高校生に相応しい規律ある生活、マナーを守った集団生活を自分は送れていると思いますか。 肯定評価の割合 75.7%</li> <li>2) 学校行事を通じて、目的意識を仲間と共有したり、達成感をかんじたりすることができますか。 肯定評価の割合 71.8%</li> </ol> <p>○生徒の肯定的回答下位2項目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自分なりの目標や課題をもって、日々の授業や家庭学習に取り組んでいますか。 肯定評価の割合 55.6%</li> <li>2) 勉強や進路、部活動、学校の様子について、家族の方とよく話をしますか。 肯定評価の割合 66.3%</li> </ol> <p>○保護者の肯定的回答上位2項目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) お子様を本校へ入学させてよかった（知り合いや親戚にもこの学校を勧めたい）と思われませんか。 肯定評価の割合 85.8%</li> <li>2) 登校・下校時指導や緊急メールなど、生徒の安全に対する学校の取り組みは十分だと思われませんか。 肯定評価の割合 83.9%</li> </ol> <p>○保護者の肯定的回答下位2項目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学習指導は充実しており、学力向上に十分な成果を挙げていると思われませんか。 肯定評価の割合 66.9%</li> <li>2) 保護者の目から見て、自分の将来と結びつけて今なすべきことを考えられるようになりましたか。 肯定評価の割合 69.6%</li> </ol> <p>○教師の肯定的回答上位2項目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 本校は生徒の部活動に対して、クラブ顧問は熱心に指導していると思いますか。 肯定評価の割合 79.9%</li> <li>2) 本校は進路指導が充実しており、生徒の希望進路の発見・実現に十分に役立っていると思いますか。 肯定評価の割合 77.9%</li> </ol> <p>○教師の肯定的回答下位2項目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自分で立てた計画に沿って、自ら主体的に学習に取り組めるようになってきていると思いますか。 肯定評価の割合 56.0%</li> <li>2) 学校からの文書や懇談会・授業公開などを通じて、学校の様子は十分に伝わっていると思いますか。 肯定評価の割合 64.0%</li> </ol> <p>【分析】</p> <p>生徒、保護者からの総合的満足度は高評価を維持している。しかし、学習指導（教育活動）と自立学習（生徒の成長）の2点は、引き続き改善を進めていく必要がある。</p>	<p>第1回</p> <p>◇大阪高校には「あったかい学校」の風を感じる。共学後は、ギスギスせず和やかで、本当に雰囲気明るくなった。良い変化が生まれていると感じている。</p> <p>◇大阪高校が良くなっていると感じるが、残念ながら保護者にその変化が伝わっていないのではないかな。そういう意味では広報活動が重要。大高の良さを発見してどんどん外部へ発信すべきだ。情報発信がまだ足りない部分があるのではないかな？</p> <p>第2回</p> <p>◇大人しくてやる気をあまり見せなかった子どもが大阪高校で変わったという声を聞く。教育力のある学校だと感じている。育友会もそういう大阪高校の教育力をサポートできる選び方を考える時にきている。</p> <p>◇学校評価アンケートの結果が、大阪高校の教育の成果を反映している。自信を持ってよい。新しい「Study」と「Colaborate」のキーワードの提起も評価できる。</p> <p>◇進学実績（偏差値の高い大学に入れる）を第一に掲げると教育は潰れる。今は、社会でどう生きていくかが重要な時代、社会で生きていける人材を育成する教育が大切ではないかな。</p>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 学び続ける力の育成	<p>(1) 学力の向上</p> <p>ア 実力試験・模擬試験対策の充実</p> <p>イ 補習・補講の充実</p> <p>ウ 夏季学習合宿の充実</p> <p>エ 夏期講座の充実</p> <p>(2) 指導力の向上</p> <p>ア 研修会の充実</p> <p>イ 授業研究</p>	<p>ア ターゲット模擬試験の設定 目標ゾーンの設定 1ヶ月前からキャンペーン実施</p> <p>イ 各学年で計画・実行 成績上位者、成績不振者、実力対策</p> <p>ウ タイムスケジュールの見直し 参加形態の見直し</p> <p>エ 無学年制を基本とし、教師が教えたい内容を提起</p> <p>ア 教師が共に学ぶ場の設定</p> <p>イ デジタル教材の活用研究</p> <p>イ 他校視察</p> <p>イ 学内授業見学</p>	<p>ア 具体的目標の提示</p> <p>イ 定期的な実施</p> <p>ウ 参加者の満足度</p> <p>エ バリエーションに富む講座の確保と参加生徒数の増加</p> <p>ア 学期最低1回の開催</p> <p>イ 学内の研修充実</p> <p>イ 3校以上の視察</p> <p>イ 年間2回の実施</p>	<p>ア 特進コース2年生の模試の成績向上が著しい(英・地歴) その他は前年と大きく変わらず。</p> <p>1～3年 成績不振者補講を3回実施。 2年生 成績上位者補講、成績不振者補講を通年で実施。 参加者の満足度は高い。</p> <p>講座数昨年度より10%増加。 参加希望生徒も12%増加。</p> <p>全学研修会を1回、 その他目的別研修を5回実施。 学内の研修は未実施。</p> <p>他校視察は1回実施。</p> <p>2回実施</p>
2 問題解決力の育成	<p>(1) 学校行事の充実</p> <p>(2) 帰属意識の向上</p>	<p>ア 文化祭におけるクラス参加の継続</p> <p>イ 体育祭における学年ミックス参加の継続</p> <p>ア クラブ参加率の向上</p> <p>イ 出席率98%のクラスづくり</p> <p>ウ 着こなし指導の継続実施</p> <p>エ 生徒会活動の活性化</p>	<p>ア 工夫度の評価</p> <p>イ 団長を中心とした団対抗の体育祭</p> <p>ア 文化系クラブの発展</p> <p>イ 週単位のブロック指導 月単位の学年指導 学期ごとの保護者面談</p> <p>ウ 節目を逃さない指導 年4回の着こなし指導</p> <p>エ 行事とともに日常生活の見直し</p>	<p>3年生は模擬店と舞台発表の取り組み実施。 2年生は舞台発表、1年生は教室展示。文化部についても積極的に活動発表を行った。</p> <p>それぞれの応援団につき50名程度の生徒が参加。活発な演舞を披露した。</p> <p>約60%の加入率。横ばいである。</p> <p>出席率98%。 各学年における指導は継続。</p> <p>年5回に指導週間を増やす。 制服の改善にも着手。</p> <p>文化祭でのクラス・クラブ活動、体育祭の応援団活動について、日々の生活も律するように発信。</p>
3 選択する力の育成	<p>(1) 生涯学習の基盤づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路実現を乗り越えた幅広い学習</li> <li>・興味関心を深め、自学自習を楽しむ学習</li> <li>・社会的・職業的に自立するための学習</li> </ul>	<p>ア 進路ガイダンスの重層化</p> <p>イ 面談の充実</p> <p>ウ 読書レポート</p>	<p>ア 校内の人的資源と校外の人的資源の活用</p> <p>イ 面談の内容</p> <p>ウ 次のステージに繋げる取り組み</p>	<p>外部ガイダンスを各学年別のテーマに沿って年1～2回実施 延べ80校以上の大学専門学校が参加</p> <p>進路検討会 年3回実施(進路別) 検討会実施の狙いは、より具体的な進路情報の提案と共有、進路支援体制の充実である。 ⇒進路決定率93.5%の実現</p> <p>読書レポート活動の卒業学年実施 卒業後も自ら学び続ける姿勢の獲得と文章から学ぶ力の育成</p>